



らいは

学校教育目標

- 進んで学び、よく考える子
- 思いやりのある子
- 元気にやりぬく子



らいはっぴー

「新しい教室で2学期の学びがスタートしました!!」

校長 三田 秀典

夏休みが終わり、礼羽小に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。新しくなった玄関や教室を見た子どもたちから「きれい」「すごい」といったうれしそうな声がたくさん聞こえてきました。一気に学校が活気づいたように感じます。例年、子どもたちのいない夏の学校は、時が止まったような静寂につつまれているのですが、本校の今年の夏は、校舎の大規模改修工事でたくさんの工事関係者が働く現場となり、例年とは全く異なる様子でした。現在のところ工事は予定どおり進んでおり、2学期開始時点で子どもたちの普通教室と一部の特別教室が完成したところです。今後も工事を継続していきますが、引き続き子どもたちの安全確保を最優先に進めてまいります。

今回の工事にあたり、前回の校舎工事からどの位の期間が経っているのか学校沿革誌等で調べてみました。前回の大規模工事は1号館（南校舎）の新築工事であり、昭和48年6月に落成との記録がありますので、その後52年間にわたり礼羽地域の多くの子どもたちを見守ってきたこととなります。その間に4,701名の卒業生を送り出していることがわかりました。昭和48年度の6年生は現在64歳、1年生は58歳になっているようです。今回も貴重な税金で改修される校舎です。これから長きに渡り礼羽地域の子どもたちを育ていく学び舎になりますので、子どもたちと大切に使っていきたいと思います。



2学期当初も暑い日々が続く予報が出ています。子どもたちも暑さに体が慣れていないことと思います。ご家庭で食事や睡眠を十分に取っていただき毎日元気に過ごしていけるようご協力いただきますようお願いいたします。2学期もよろしくお願いいたします。

改修前の様子



改修後の様子



西中との交流



加須西中学校区では、3つの小学校と中学校が連携し、子どもたちの豊かな成長を目的とした小中交流事業に取り組んでいます。1学期末には中学生が各小学校に出向いて、あいさつ運動を共に実施しました。また、夏休みには、6年生の希望者が中学校の陸上練習に参加し、陸上大会に向けて練習に取り組みました。あいさつ運動は2学期末にも予定しています。

どちらも中学生の立派な姿に刺激を受けて、挨拶や運動への意識を高めていました。

林間学校



7月17日から18日にかけて、子どもたちは林間学校で日光に行ってきました。出発前から心配されていたお天気はあいにくの雨でのスタートになりました。ハイキングでは、雨具を身につけぬかるんだ道を友だちと励まし合いながら歩ききり、キャンプファイヤーでは、火を囲んで元気に歌を歌ったり、レクリエーションをしたりしました。班別行動では、自分たちで決めた計画をもとに、お互いに助け合いながら協力して活動する姿がたくさん見られました。

どの活動場所も人が少なく、落ち着いて活動できたことも、子どもたちがじっくりと自然や友だちと向き合う良い機会となりました。

この2日間を通して、様々な困難を乗り越え、協力することの大切さを学んだ子どもたち。一回りも二回りも大きく成長したように感じます。

